



1／勢よくスタートする参加者たち 2／表彰台で賞状を掲げる上位入賞者 3／さまざまなコスチュームに身を包みマラソンを楽しむ参加者 4／ユーモアを交え選手宣誓をする新山可奈さん詩花さん親子(左)と上山香菜美さん莉子さん親子(右) 5／元地域おこし協力隊の山下竜二さんが描いたフォトスポット

秋空の下 颯爽と駆け抜ける

9月27日、第11回久慈あまちゃんマラソン大会が開催されまし

た。今大会は、2 km、5 km、10 km、ファミリーペア、ファン・ランの5部門に分かれて実施。県内外から参加した約1500人のランナーは、上位入賞を目指して真剣な表情で走る人や手をつなぎながら笑顔で走る親子など、それぞれのあまちゃんマラソンを楽しみました。

沿道では、市内の児童・生徒らが吹奏楽の演奏やチャダンス、長中ソーランを元気よく披露しランナーを後押し。地域住民も沿道から笑顔で声援を送り、ランナーたちは応援を力に変えながら、ゴールを目指して走り抜けました。

表彰式では、司会のアンダーエイジが1位のランナーにインタビュー。笑いを交え会場を盛り上げました。10 km一般女子60歳以上の部で1位となった赤坂玲子さんは「吹奏楽の演奏であまちゃんのテーマソングが流れると、後押しされている感じがして気持ちよく走れました。来年も参加したいです」と話しました。

..... machi no wadai

企業から大会を支える支援



中平市長に目録を手渡す十文字社長（右）

あまちゃんマラソンに特別協賛をしている(株)十文字チキンカンパニーから、市に大会支援を目的とした企業版ふるさと納税寄付が行われ、9月11日に同社の十文字保雄代表取締役社長が市役所を訪れ、贈呈式が開催されました。同社からの寄付は5回目。寄付金は大会の開催経費として活用されています。

マラソンに合わせ、沿道の環境美化



路肩の草取りを行う郵便局員ら

9月26日、久慈地域の郵便局の地域貢献活動として、社員ら約30人が諏訪から玉の脇にかけて、県道野田長内線の路肩の草取りや周辺のごみ拾いを実施。企画した宇部郵便局の浅水義輝局長は「ランナーの皆さんには、きれいなコースを気持ちよく走ってほしいです」と話しました。